

「河川技術・流域管理分野 指定課題」 (令和2年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
大量アンサンブル降雨－流出計算データを利用した流路変動解析による河道被災リスクの定量評価手法の構築	北海道大学 岩崎 理樹	A
<p><研究概要></p> <p>本研究では、出水時に生じる大規模流路変動、川幅の拡幅に起因する河道内構造物の被災、堤防の流失・決壊、これによる外水氾濫といった侵食リスクを、現在・将来条件において得られた大量アンサンブル降雨－流出計算データ、ならびに想定される土砂流出シナリオや植生、河道条件を考慮した大量の流路変動数値計算により定量的に評価し、このような侵食の影響を合理的に考慮した今後の河道計画に資する技術・知見を得るものである。</p>		
<p><事後評価指摘事項></p> <p>A評価のためコメントなし</p>		

※ 評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。